

参 考 手 本

碁局長夏を消す

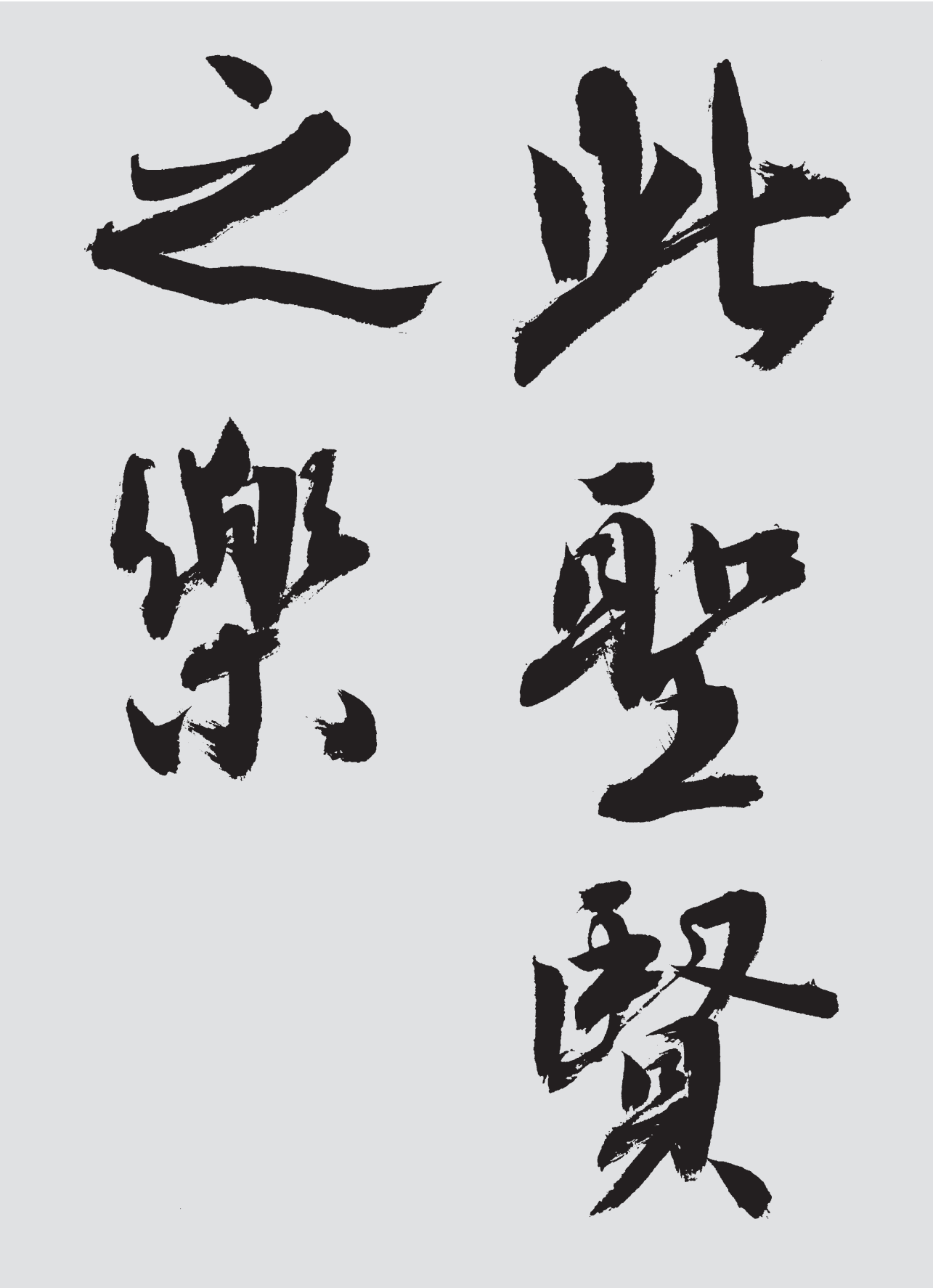
碁
局
消
夏
長

※これは規定課題ではありません。

成
瀬
映
山
先
生

参 考 手 本

此聖賢之樂



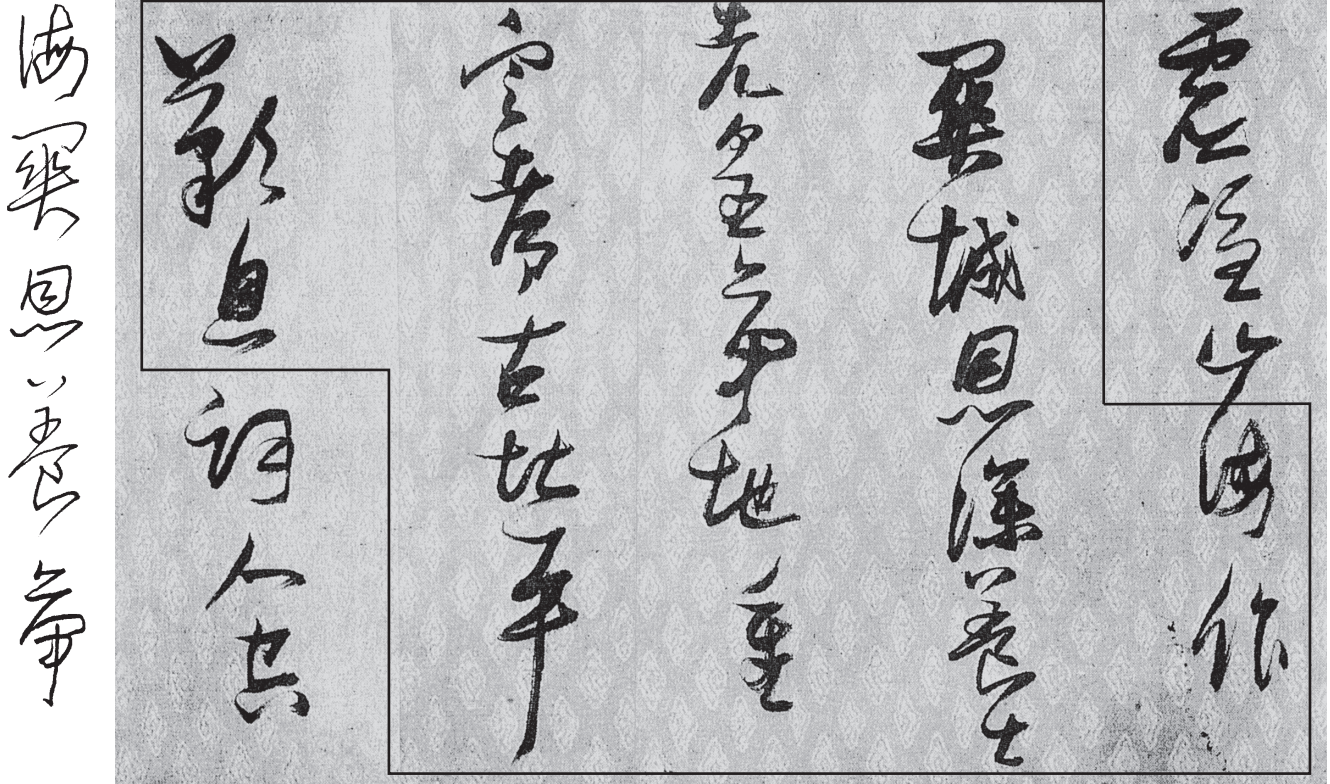
※これは規定課題ではありません。

高 木 聖 雨 先 生

条幅規定

A部 (準五段以上)

B部 (四段～準三段)



ちようずいと
張瑞(明) 『感遼事作六首卷』⑤

(虚憑山) 海作 關城恩深養士
先皇帝地重 定都古北平
歎息詞人空

(虚しく山海に憑りて 関城を) 作る
恩深く 士を養う 先皇帝地重く
都を定む 古北平 歎息す(詞人は胆気に)
空しきを

空しく山海に依って関門とする。
先皇帝の恩は深く、よく人材を養成し、
定都の地は重要、それは昔の北平。
歎息する、文人は胆力のないくせに、

【今月の課題】

「海作關城恩深養士先皇帝地重定都古北平歎息」(20字)

〔この課題を同月の条幅随意には出品出来ません〕

条幅のバーコード出品券にはA・B・Cでは無く
段・級を記入してください

(10月10日締切)

条幅規定

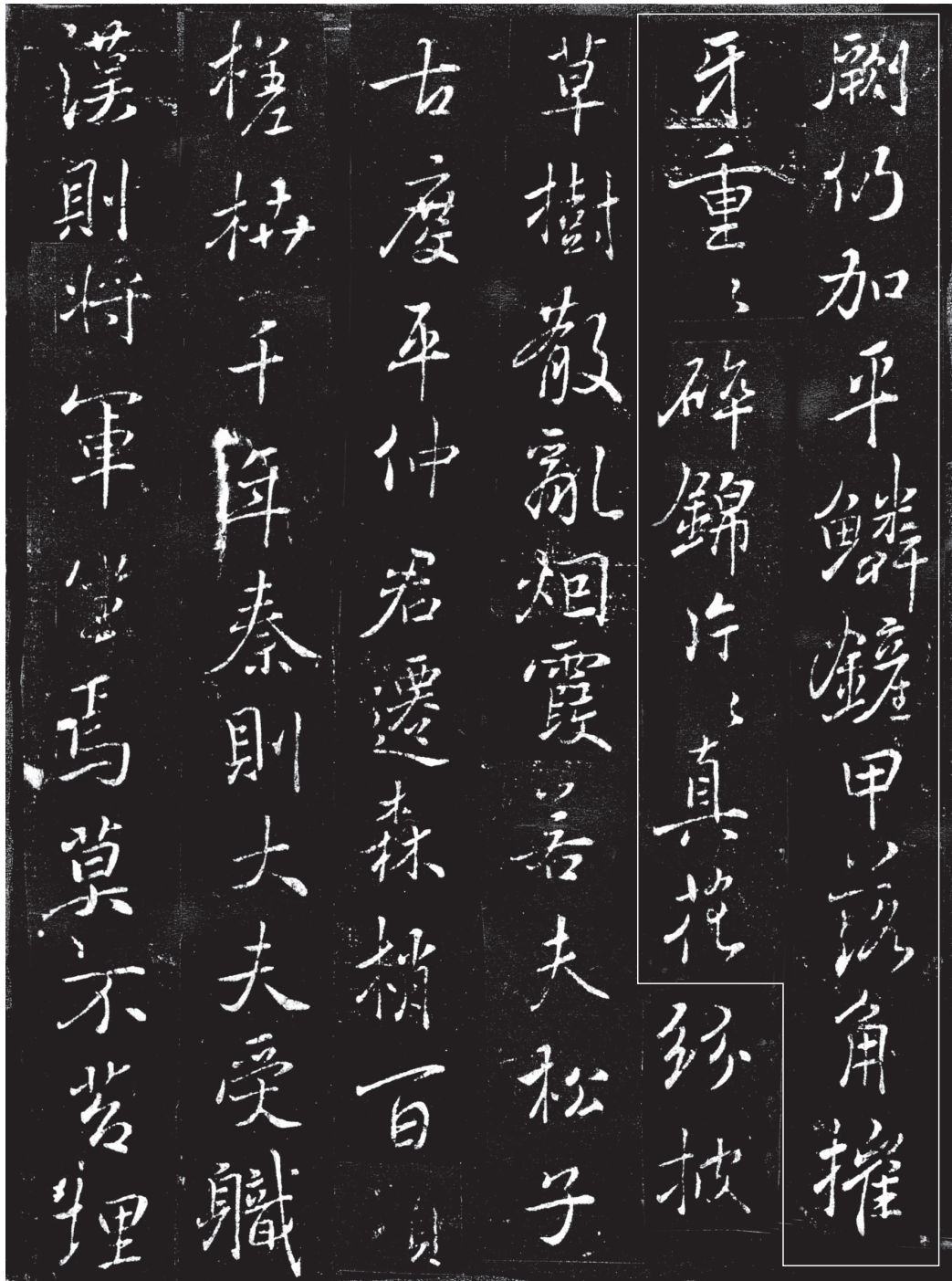
C部 (二段以下)

『枯樹賦』

褚遂良

(唐)

⑩



剗仍加。平鱗鏝甲。落角摧牙。重重碎錦。片片真花。紛披草樹。散亂烟霞。若夫松子。古度。平仲。君遷。森梢百頃。槎枿千岸。秦則大夫受職。漢則將軍坐焉。莫不苔埋。

剗剗仍り加え、鱗を平らげ甲を鏝り、角を落とし牙を摧き、重々たる碎錦、片々たる真花、草樹に紛披し、烟霞に散乱す。夫の松子、古度、平仲、君遷の若きは、森梢百頃、槎枿千岸なり。秦には則ち大夫職を受け、漢には則ち將軍焉に坐す。苔埋め

(10月10日締切)

【今月の課題】「剗仍加平鱗鏝甲落角摧牙重碎錦片片真花」(19字)

〔この課題を同月の条幅随意には出品出来ません〕

条幅のバーコード出品券にはA・B・Cでは無く段・級を記入して下さい

半紙規定 (二)

※清書の提出は〔初段以上〕楷書か隸書 〔二級以下〕楷書



九成宮醴泉銘 (唐・欧陽詢)

映群形潤生

群形を鑑映し、万物を潤生するは、

※清書作品には支部名・段級・雅号を必ず筆で記入して下さい。

嵯峨を闕き、華山を望む

半紙規定 (一)

曹全碑 (漢・作者不詳)



嵯峨望華山

〔この課題を同月の半紙随意には出品出来ません〕
(10月10日締切)

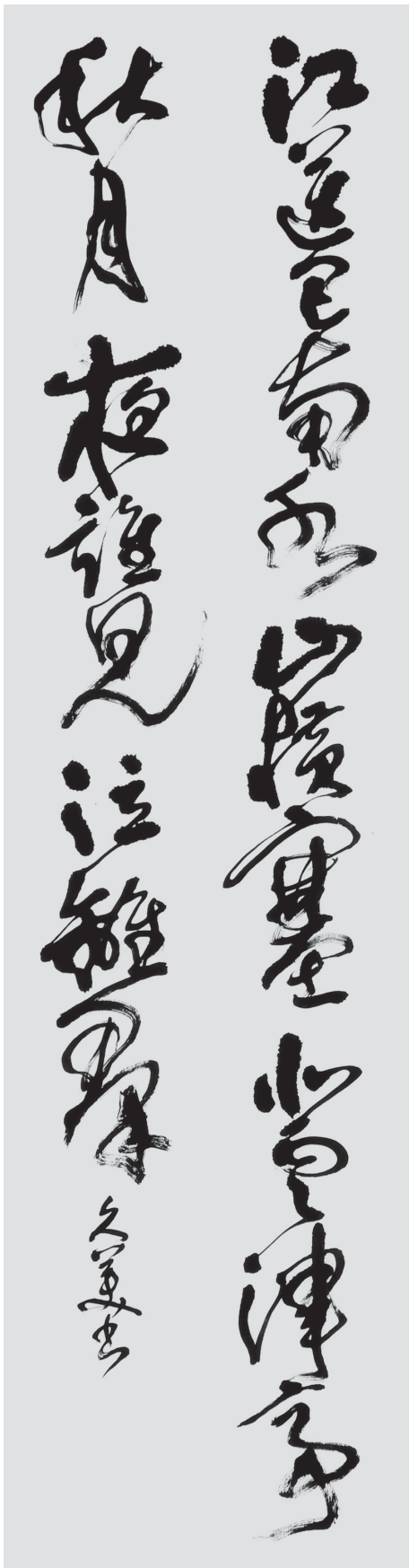
条幅参考手本



渡邊南嶂先生

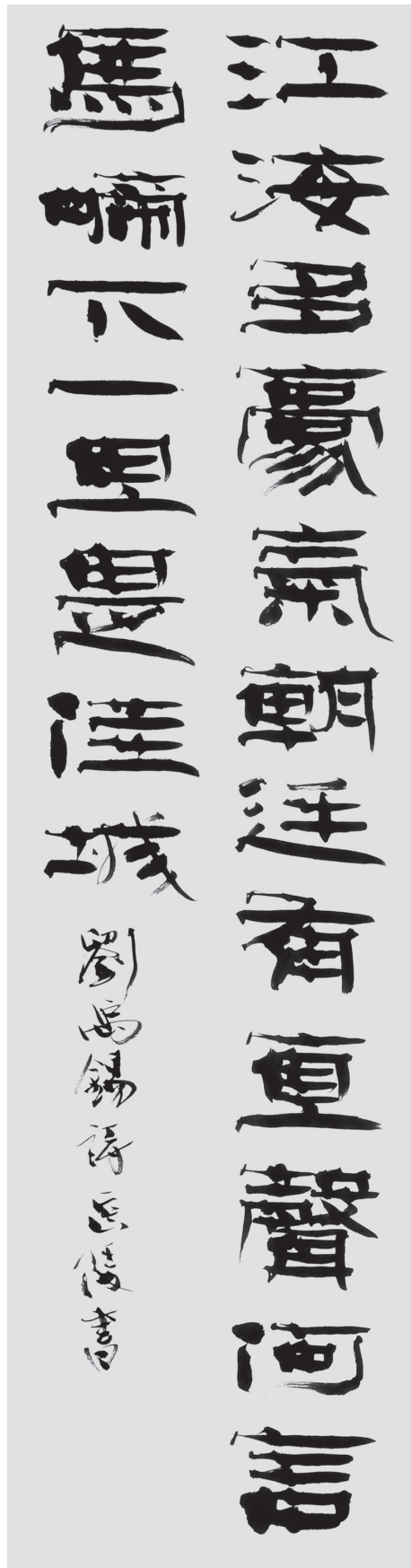
終日釣石坐 清波間我鉤 擲竿望山月 回見衆魚游
 終日釣石に坐す 清波我が鉤間なり 竿を擲つて山月を望めば 回つて衆魚の游ぐを見る

渡辺久美先生



江送巴南水 山横塞北雲 津亭秋月夜 誰見泣離羣
 江は送る巴南の水 山は横たわる塞北の雲 津亭秋月の夜 誰か見ん離羣に泣くを

条幅参考手本

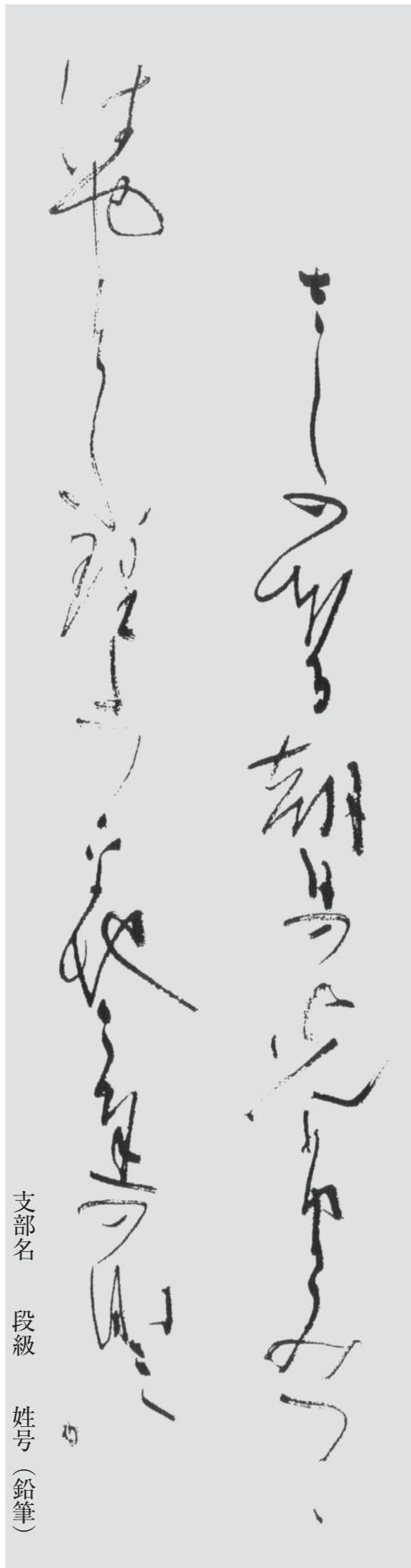


大井岳陵先生

江海多豪氣 朝廷有直聲 何言馬蹄下 一旦是佳城

江海豪氣多く 朝廷直声有り 何ぞ言はん馬蹄の下 一旦是れ佳城ならんとは

条幅かな



浮乗清郷先生

さしのぼる朝日の光ふかみつはやけぶりたつをちこちの浪 (若山牧水)

※かな部は支部名・段級・姓号を鉛筆で左下部に添え書きして下さい。

支部名 段級 姓号 (鉛筆)

(10月10日締切)

半紙かな（1級以下）

立秋の鏡の中に風が吹く
りつしゅう かがみ なか かぜ ふ 吹く
かみ 鏡 可 耳
 （橋本寅男）

かみ
 鏡
 の
 中
 に
 風
 が
 吹
 く
 立
 秋
 の
 鏡

支部名
 級
 姓
 号
 （鉛筆）

※ちらし文字変換は自由

※支部名・級・姓号を鉛筆で左下に添え書きして下さい。

半紙かな（初段以上）

奥山に紅葉踏み分け鳴く鹿の声きくとときぞ秋はかなしき
おくやまに もみぢふみ わな 鳴く しかのこゑ きくと きぞ あきはかなしき
於 二 三 王 遣 可 濃 恵 起 曾 八 幾
 （猿丸太夫）

かみ
 鏡
 の
 中
 に
 風
 が
 吹
 く
 立
 秋
 の
 鏡

支部名
 段
 姓
 号
 （鉛筆）

船久保 棠苑先生

※ちらし文字変換は自由

※支部名・段・姓号を鉛筆で左下に添え書きして下さい。

(10月10日締切)

浮乗清郷先生

実 用 文

※準三段以上…行書を草書に変換は自由

〈書風任意〉

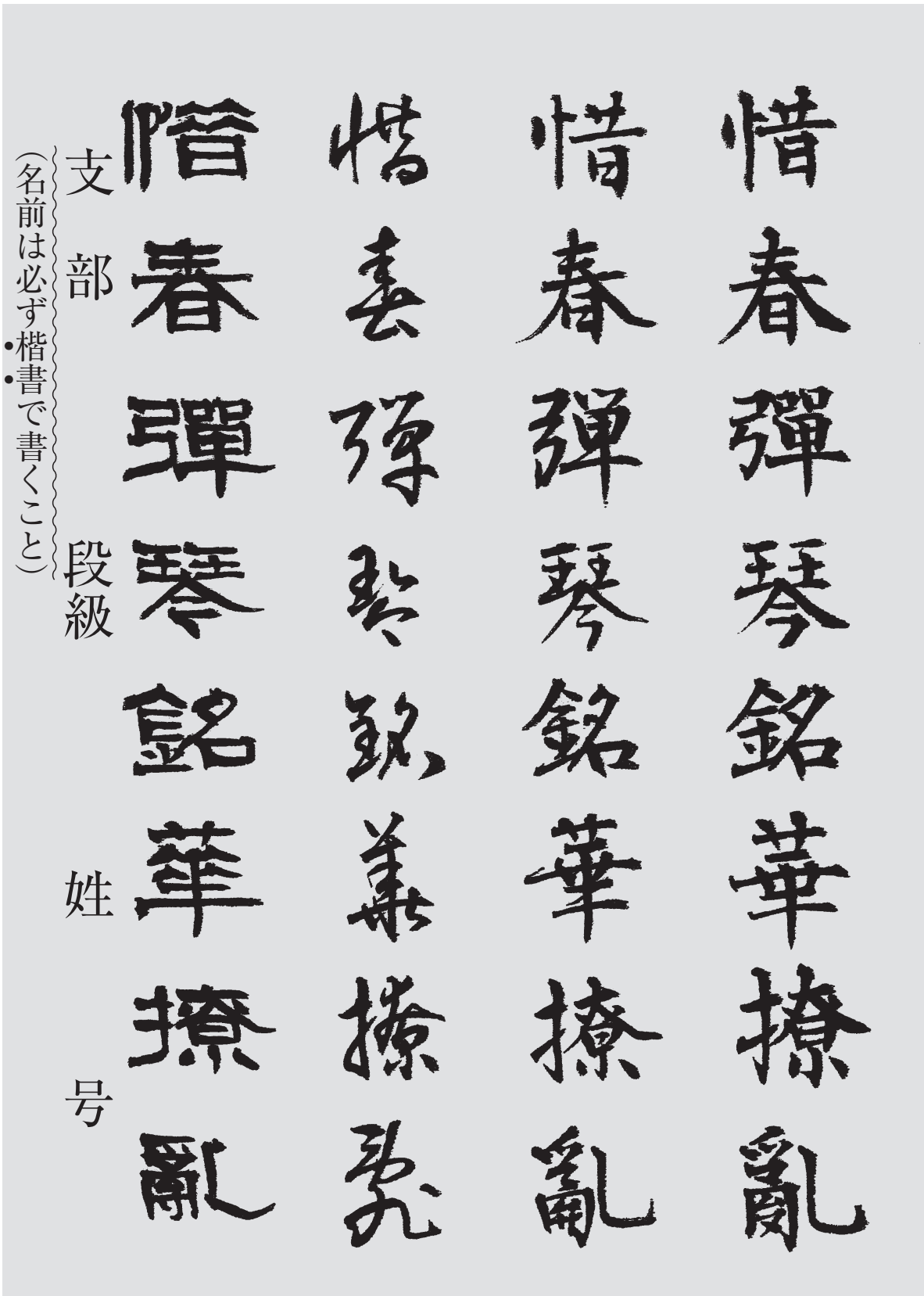
暮れ行けば磯間も見えず歌哀
 し佐久の草笛千曲川さよふ波の
 岸迄よ宿いのぼりつ濁り酒濁れ
 る飲みて草枕しぼし慰む
 支部 段級 姓号

鈴木 翡翠 先生

島崎藤村「千曲川旅情の歌」より

(10月10日締切)

細 字



※一級〜八級は草書まで。 初段以上は隷書まで。 ※名前は楷書以外では違反になります。 17 cm (よこ) × 24 cm (たて)

借^{せき} 春^{しゅん} 撩^{りょう} 乱^{らん}
 銘^{めい} 華^か 名高い華。
 春の名残りを惜しむ。
 さぎ乱れる。

硬筆（1級以下）

2行、楷書

心の豊かさは、身近な人達と接し、
ふれあい、対話の中で育っていく。

支部
級
姓
号

田
辺
翠
鶴
先
生

硬筆（初段以上）

3行、行草書

…空が…乾いた…透明度が…。

秋の空が高く青いのは、乾いた風に
よって空の透的度が増し上空まで
見わたせるようになるからです。

支部
名
姓
号

青
柳
江
雲
先
生

※本院定型用紙・たて半分を書く

(10月10日締切)

中2用

支部名
段級
名
前

初秋の
月夜の

渡邊南嶂先生

中3用

支部名
段級
名
前

紅葉の
山野の

大越三宗先生

小6用

支部名
段級
名
前

新米の
味の

渡邊南嶂先生

中1用

支部名
段級
名
前

大型の
台風

渡邊南嶂先生

10月10日締切課題並びに後期昇段級試験課題（10月13日締切）

小4用



大越三宗先生

小5用



大越三宗先生

小2用



鈴木翡翠先生

小3用



鈴木翡翠先生

10月10日締切課題並びに後期昇段級試験課題（10月13日締切）

中1

教科書の本文を読んで感想文をまとめる。

中1~中3

中2

野鳥が住めるような自然環境にしたい。

青

柳

中3

急にさえ渡った空に、秋の星座が昇り始めた。

雲

先生

小1・幼年用

支部名

段級

名

前

ひも

鈴木 惠 先生

小1・幼年

あきは、くだものがいっぱいあります。

小1~小3

小2

とおくで、川の水がひかっています。

田

辺

翠

小3

ススキが出はじめた。もうすっかり秋です。

鶴

先生

小4

高原の風に、コスモスの花が、大きくゆれた。

小4~小6

小5

海辺では、雲が流れ、まつ林が風にさわぐ。

齋

藤

翡

小6

学生書道コンクールで、特選をもらった。

流

先生

10月10日締切課題並びに後期昇段級試験課題 (10月13日締切)

